

20 チラシによるリアルな情報の発信

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
	☑災害の切迫 ☑呼びかけ		
自治体	広島県広島市		

問合せ先：広島県広島市 安佐南区地域起こし推進課

取組概要

- 令和3年8月の大雨により、広島市安佐南区では**土砂災害が発生し、4箇所の砂防堰堤がほぼ満杯となったほか、ため池が土砂で埋まった。**
- 区の災害対策本部は、付近の住民に早急な避難を呼びかけるため、「**今すぐ避難！**」というメッセージと、**土砂で埋まった砂防ダム**の写真を掲載したチラシを配布。配布後、多くの住民が避難した。

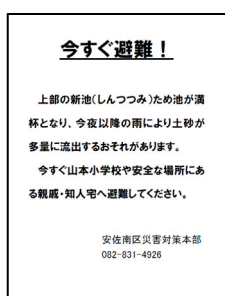
取組のきっかけ

- チラシの配布は、ため池や堰堤が危険との情報を受けて、住民の早期避難の必要性が生じたことから、区の災害対策本部が発案し、実施したもの。
- 災害の危険性が切迫している状況を住民が理解できるように、**具体的に伝えること**を心掛けた。

取組のポイント

- 令和3年8月の豪雨では、土砂災害が多数発生。安佐南区では、避難情報を発令するなど、繰り返し住民に避難を呼びかけた。
- 16日夕方、明朝にかけてまとまった降雨が予想される中、ため池が土砂で埋まったとの情報が入った。区の災害対策本部は、災害の危険性が切迫していると判断し、チラシを用いて避難を呼びかけた。
- また、翌日、区内4カ所の砂防堰堤が土砂で満砂となった情報を得て、同様にチラシを用いた避難の呼びかけを行った。
- チラシの配布では、どの地区の砂防堰堤が満砂になったのか、**状況が分かるよう写真も添えて伝えた。場所を特定したうえで、直接チラシを持参し呼びかけたことで、住民が急迫した危険を「我がこと」として、捉えられたことも考えられる。**

▼土石流発生前（H29.3.29撮影 鳥越川1号砂防堰堤） ▼実際に避難を呼びかけたチラシ



▼土石流発生直後（R3.8.15撮影 鳥越川1号砂防堰堤）



写真出展：国土交通省水管理国土保全局HP 砂防設備の効果事例

取組の効果

- チラシ配布前は、避難所への避難者は50名程度であったが、チラシ配布後は、深夜にもかかわらず、避難所に来られた方だけでも100名を超えた。